

正誤表

- 31頁18行 比複合的 → 非複合的
- 37頁4行、47頁19行、49頁10行、50頁4行、112頁7行、113頁17行、索引17頁 (全七箇所)
ポリュピュリオス → ポルピュリオス
- 60頁9行 $\acute{\alpha}\lambda\eta\tau\acute{\omega}\varsigma \rightarrow \acute{\alpha}\lambda\eta\theta\acute{\omega}\varsigma$
- 64頁8行 第三卷八章 → 第二卷九章
- 68頁14行 ネーターを残さなかつたいや、… → ネーターを残さなかつたのであろうか。
いや、…(脱落を補う) 同19行 中間の日 → 中間の比
- 69頁8行 (H-P_n-M-T-P_n-N) → (H-P_n-L-M-T-P_n-N) (一字追加)
- 80頁7行 前五二〇年 → 前四八〇年
- 81頁5行 の際に会つた → の際にソクラテスに会つた(脱落を補う)
- 90頁19行 それを(=256-243)の値を → それを13(=256-243)の値を
- 93頁表 32/37 → 32/27、28/28 → 28/27
- 101頁5行 <Q·Q·D·3S·Q·T> → <Q·Q·D·3S·T> (一字削除)
- 103頁2行 (H-P_n-L-H-P_n-L-M) → (H-P_n-L-H-Ph-L-M-P_m) (一字追加)
- 同3行 (H-P_n-L-M-P_m-T-N) → (H-P_n-L-M-P_m-T-P_n-N) (一字追加)
- 115頁4行 $\acute{\epsilon}\zeta\eta\varsigma \rightarrow \acute{\epsilon}\xi\eta\varsigma$
- 154頁表 $1\frac{1}{3} \rightarrow \frac{11}{6}$ 、 $\frac{2}{3} \rightarrow \frac{3}{2}$ 、hemioric → hemiolic、diatomic → diatonic
- 166頁12行 接続に替わつて → 接続によって
- 174頁10行 テトラコードには四つの音が → オクターヴには八つの音が
- 185頁1、4、6、7行(五箇所) H₁ → H₂
- 198頁6行 第二章二節 → 第二章三節
- 207頁9行 古式の教育 → 古式の形式
- 208頁6行 否定的に対応して、アリストクセノスに… → 否定的に対応して、その歴史的な意味を無みしたのである。アリストクセノスに… (脱落を補う)
- 220頁10行 それは別に → それとは別に
- 231頁12行 $\acute{o}\zeta\acute{\upsilon}\tau\eta\tau\alpha \rightarrow \acute{o}\xi\acute{\upsilon}\tau\eta\tau\alpha$
- 273頁9行 音 → 音階
- 280頁4行 ヘーミオリオンの → 最も低い
- 306頁13行 超過分の半分 → 超過分 (三字削除)
- 320頁19行 形態 → 形態⁽²⁴⁾
- 321頁3行 配列⁽²⁴⁾ → 配列⁽²⁵⁾ 同5行 ならない⁽²⁵⁾。 → ならない。(数記を削除)
- 326頁22行 断片によれば → パウリーによれば 「(増補版第一巻一〇五七頁)」を補い、最後の一文「これはウィリーも認めている」を削除。
- 327頁12行 ウィリー → パウリー 「(同一〇五七頁)」を追加。
- 331頁15行 <S·Q·T·3Q> → <S·D·T·3Q> 「Tは全音」のあとに「Dは二倍音」を追加。
- 343頁21行 形成が類似的 → 形式が類似的
- 367頁17行 注γ(20)(21)参照 → 注γ(23)(24)参照
- 377頁8行 注(11)参照 → 注(7)、8、11参照
- 378頁18行 M*-M-P*_m → M*-M-P*_m-T (一字追加)